

9月議会 市政報告

9月10日開会の第307回南国市議会定例会で、浜田純市長は、各議案の提案理由の説明に先立ち、

「8月6日から7日にかけて開催されました四国中学校総合体育大会で、香長中学校女子柔道部が、団体の部で輝く7連覇を達成し、個人の部でも2人が優勝を果たしました。また、8月21日から24日には、全国中学校体育大会の柔道種目が埼玉県上尾市で開催され、香長中学校は、持ち前のチームワークと一人一人が持てる技量を十分に発揮し、団体では準優勝を、そして、個人でも3年連続で優勝するなどの輝かしい成績をあげました。今回の快挙は、指導者の情熱と部員の皆さんの粘り強い練習成果のたまものと心からたたえたいと思います」

と述べた後、主要な各課題について報告しました(内容は、あらましです)。

財政状況

連年の繰上償還等の実施

平成15年度普通会計の決算状況は、歳入総額は対前年度比2億113万9千円、1%の減となり、歳出総額は対前年度比5千991万9千円、0.3%の増で、決算額は昨年と同規模となっております。

実質収支は、減債基金2億円を繰り入れることにより、6千290万5千円の黒字となっております。

地方債借入残高は、連年の繰上償還等の実施により、平成15年度末残高32億4千684万8千円となり、対前年度比8億6千994万1千円、2.6%の減少となっております。

「新図書館」

旧法務局南国出張所へ

「子どもとお年寄りが集える情報交流館」を目指して

市民の皆さまが待ち望んでいました「市立図書館」は、旧法務局南国出張所への移転を決めました。

新たな市立図書館は、「子どもとお年寄りが集える情報

交流館」を目指しています。

単に蔵書数を誇るのではなく、小さなお子さんをお持ちの親が安心して子どもと一緒に読める図書・場所の充実を図ります。子育て真っ最中の親同士が図書館で情報を共有でき、子育ての先輩の話が聞けるような環境を作り、さらに、映像が楽しめる部屋を新設するなど、ぜひ、もう一度行きたい図書館づくりを目指していきます。

保育所民営化

実施に向け

継続して話し合いを国府、後免野田、稲生保育所の3園の民間移管に取り組み、保護者会、地域の皆さまへの説明を行い、意見の聴取に努めてきました。

そつした中で、国府保育所の移管先はさらに慎重に検討することが必要と考え、実施時期を延期することにしました。

後免野田保育所については、平成17年4月1日に移管ができるように、さらに細部の話

し合いを行い、実施に向けて取り組んでいきたいと考えています。

また、稲生保育所については、保護者の皆さまが懸念されていることを解消するよう努め、移管時期についても再検討を行い、実施に向け取り組んでいきたいと考えています。

自治活動団体体育成事業

地域ごとに

特色ある事業を実施も順調で、全17地区のすべての地区から事業計画が提出され、既に事業を実施した地区もあります。各地区の事業計画の内容は、環境、健康、福祉、文化、防災、歴史的遺産の保全、地域住民の交流促進、戦争体験記の編さん、特産物の活用など多岐にわたっています。

一つ一つの取り組みは小さく地道なものですが、地域に役立つことを自ら考え、自ら取り組みを始めたことは、住民自治活動にとつては大きな一歩を踏み出したものと考えています。



人権問題

作品の展示や紙芝居の

活用により人権意識の啓発

7月10日から20日までの部落差別をなくする運動強調週間には、市役所市民ホールで人権パネル展を開催し、市内幼稚園と小学校の児童から募集した作品を展示するとともに、市内を巡回し、啓発を行いました。

女性問題については、本年3月に完成しました男女共同参画啓発紙芝居「ジェンダーってなあに？」の貸出しを南国市立図書館や高知市のソールに依頼するなど紙芝居の活用によるPRにも努めています。愛媛県出海小学校から貸出しの申込みがあり、情報化社会の効果が現れています。



環境問題

身近な生活環境を学習

三和スポーツ交流センターにおいて、市内の小学校高学年を対象に「こども環境教室」を実施しました。国分川の水を使って汚れ具合を調べたり、ごみ処理施設の見学や教材として用意したごみを分別するなど、身近な生活環境について学習しました。また、次世代エネルギーやクリーンエネルギーについても紹介しました。ごみの分別やごみの焼却・埋立てなどごみの処理方法や水素と酸素で電気を起こして走るクリーン車にも、子どもたちは、大変関心を示しており、環境を学ぶ良い機会になったと思われま。

防災対策

大地震を想定し実践的な

震災訓練を実施

高知県全域にマグニチュード8.4の大地震が発生したとの想定で、9月1日に北部地区を対象とした南国市震災訓練を実施しました。

この訓練は、地元自主防災組織と消防団が中心となり、岡豊小学校とその周辺を会場に、小学生による校舎からの避難訓練、隣接する岡豊保育所から保育園児による避難訓練、放水消火訓練、救出搬送訓練、応急救護訓練、初期消火訓練等を行いました。また、起震車、煙体験機、水消火器を使用する体験コーナーを設けたことで、一層の防災意識の高揚と防災関係機関の連携強化が図られたと考えており、今後ともこうした実践的な防災訓練を実施し、市民の災害対応能力の向上に努めていきます。

地産地消への取り組み

病院・福祉施設へ販路拡大

稲作農家で組織する「南国市こめ地産地消の会」が発足

しました。この会では、農家自らが生産したおいしい米の販路拡大を図るため、市内の病院や福祉施設の方々と、懇談会や新米の試食会を開催するなど、地産地消の推進に向けた新たな取り組みを始めています。

介護保険事業

介護保険制度の見直し

厚生労働省が本年7月30日に介護保険制度の見直し案を取りまとめましたが、被保険者の年齢引下げと障害者施策との統合問題については、積極的な考えと慎重な見解を併記し、年末に向けて制度全体の改革案をまとめることになりました。介護給付については、要支援と要介護1などの軽度者を対象に「新・予防給付」を導入し、これまで「介護予防・地域支えあい事業」として介護保険制度外で実施してきました筋力向上トレーニング、転倒骨折予防運動、閉じこもり防止などの事業を介護保険制度内の事業に位置付けることが示されています。

文化財関係

「掩体」を戦争の

生き証人として保存

6月に、えん体整備検討委員会を組織し、南国市に残存する戦時中の航空機格納庫「掩体」を、戦争の生き証人である貴重なものと位置付け、市指定文化財とする方向で、具体的な保存計画と平和学習の身近な教材として活用する方法を検討していきたいと考えています。

一般国道55号・

高知南国道路に関する
周辺整備事業

円滑な事業の推進を図る

芦ヶ谷、小久保、西谷、衣笠、丸山、住吉野、西野々部落で施工中であり、衣笠、住吉野部落の共同墓地は、工事を発注しました。

残る未発注工事についても、早期発注を図るとともに、土佐国道事務所東部推進チーム及び高知県道路計画課と協力し、円滑な事業推進に努めます。